



生活の知恵を楽しく学ぼう ～消費生活と環境展～

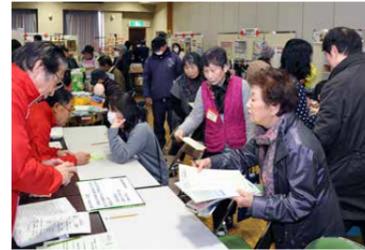
第13回消費生活と環境展が、2月18日にいきいきふれあいセンターで開催されました。13回目を迎える今回は37団体が参加。食や環境など暮らしにまつわるさまざまなブースが設けられ、会場を訪れた人たちは体験を通じて、楽しみながら生活の知恵を学んでいました。下水道を紹介しているブースでは、男の子が説明を受けながら、トイレトーパーと通常のティッシュペーパーを水に入れたときの違いについて体験していました。



“びん”の分別方法が4月から変わるため、説明を受ける人たち。



家庭に余っている食料品を持ち寄るフードドライブでは、多くの食品が寄附された。



会場は多くの人たちでにぎわった。



大会新記録で2連覇 ～第59回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会～

1月28日に県庁前をスタート・ゴールとして行われた第59回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会。31チームが参加したこの大会に本市からは3チームが参加。Aチームが2年連続9回目の優勝を大会新記録(3時間4分00秒)で飾りました。

2月19日には優勝チームメンバーと優秀選手が優勝報告のために君島市長を表敬訪問。優勝の喜びとともに来年の3連覇に向けての意気込みを伝えました。



県庁前を一齐に飛び出していく選手たち。3時間に及ぶ長い戦いが始まる。



往路を1位で制し、復路の選手にタスキを託す那須塩原Aチーム。



ステージの裏側はどうなっているの ～黒磯文化会館 舞台体験ツアー～

1月21日、黒磯文化会館で舞台裏を体験するイベントが開催されました。これは、毎月第3日曜日を家庭の日として推進する事業の一環として行われたものです。

同日開催されたゴスペルコンサートが終了すると、参加した15組の親子は、実際にコンサートで使用された照明や音響の機器を操作したり、普段は立ち入ることができないホール裏側を探索したりして、非日常体験を楽しんでいました。



地域の魅力を再発見 ～市ファンクラブ 魅力発見ツアー～

まちの魅力を再発見しようと、なすしおばらファンクラブが中心となり2月10日に開催した「魅力発見ツアー」。那須野が原博物館や板室温泉大黒屋などを巡り、地域の魅力を体験しました。参加者は「近所の地名が明治開拓にルーツがあることを初めて知った」「こんな素敵な場所があるとは知らなかった」と少し興奮気味に話してくれました。



↑ファンクラブへの加入はコチラ



プロの技術ってすごい！ ～セルジオ越後杯争奪戦 交流試合～

今年で38回目を迎えたセルジオ越後杯争奪戦の交流試合が2月3日に行われました。この大会は、セルジオ越後氏が来日当初、旧黒磯市に住んでいたことが縁で始まったもの。「セルジオ氏とプロ選手などで構成されたチーム」対「小学生チーム」の交流試合では、プロが繰り出すパスやシュートに大きな歓声(ワァ～!)。市内から参加した高根沢脩真くん(小5)は「上手なプロ選手たちと試合ができて楽しかった」と目を輝かせて話してくれました。



まちの将来を高校生と語る ～那須塩原市商工会セミナー～

「将来、戻ってきたい街となるために、何が必要だろう」。地域の若手経営者や後継者で組織する市商工会青年部がワークショップを開催し、黒磯高校から25人の生徒が参加しました。

「インスタ映えする場所」など高校生らしい意見が出る一方、「近年増えている廃校を活用して、思いの場所を生かした地域活性化を図る」など地域の課題に沿った意見も。このまちの将来について若手経営者たちと熱く話っていました。